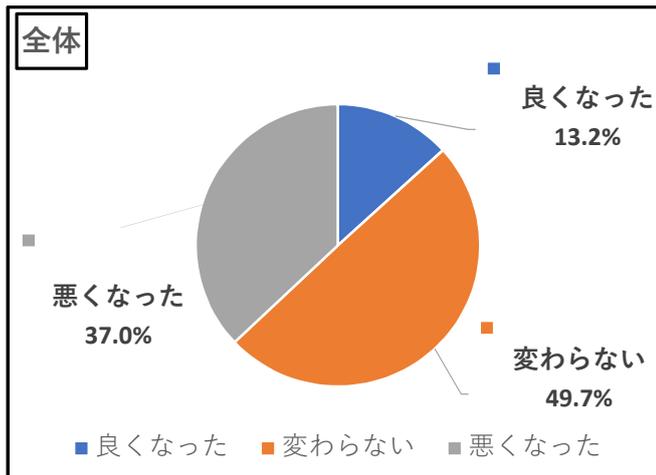
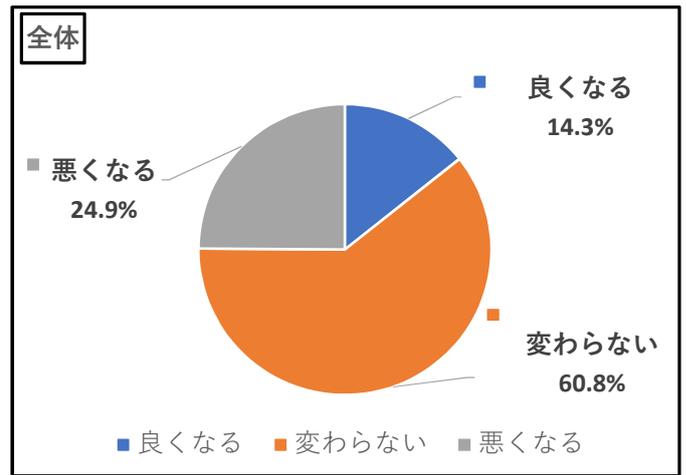


1 業況判断(DI)について

①R3.2と比べた業況の現状



② 約3カ月後の見通し



▲業況DI (「良くなった」の割合-「悪くなった」の割合)

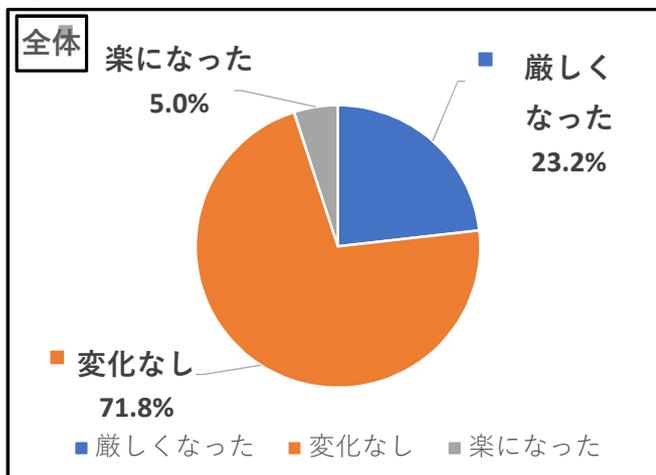
全体		▲ 23.8 ポイント (前回 ▲ 26.6 P)
規模別	大企業	▲ 6.7 ポイント (前回 0.0 P)
	中小企業・小規模事業所	▲ 25.3 ポイント (前回 ▲ 29.3 P)
産業別	製造業	0.0 ポイント (前回 0.0 P)
	非製造業	▲ 28.9 ポイント (前回 ▲ 34.3 P)

▲先行きDI (「良くなる」の割合-「悪くなる」の割合)

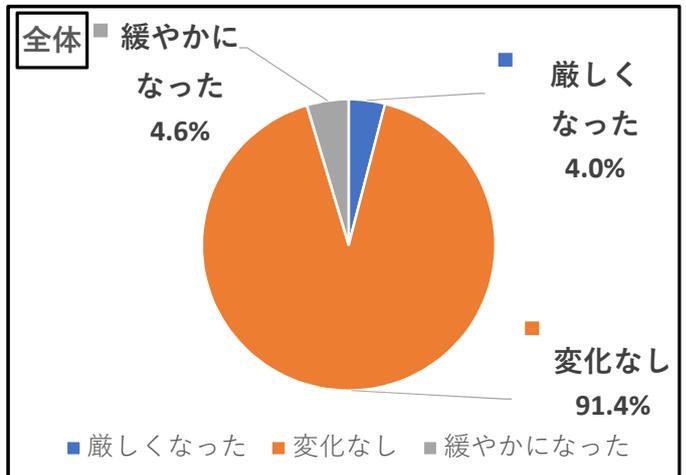
全体		▲ 10.6 ポイント (前回 ▲ 12.8 P)
規模別	大企業	0.0 ポイント (前回 0.0 P)
	中小企業・小規模事業所	▲ 11.5 ポイント (前回 ▲ 14.2 P)
産業別	製造業	0.0 ポイント (前回 0.0 P)
	非製造業	▲ 14.5 ポイント (前回 ▲ 17.6 P)

2 資金繰りについて

①R3.2と比べた資金繰り状況



②R3.2と比べた金融機関の貸出態度



R3年2月時と比べて、資金繰りの状況はいかがですか。

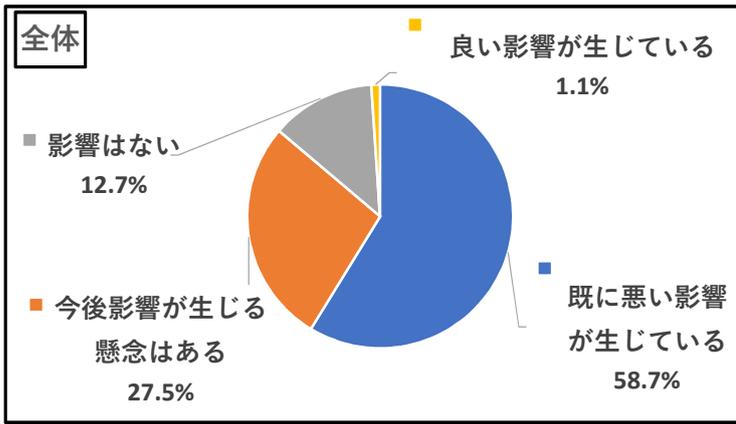
	楽になった	5.0%	(前回 4.3%)
全体	厳しくなった	23.2%	(前回 19.9%)
	変化なし	71.8%	(前回 75.8%)
製造業	楽になった	4.7%	(前回 6.8%)
	厳しくなった	17.6%	(前回 18.4%)
	変化なし	77.6%	(前回 74.8%)
非製造業	楽になった	5.2%	(前回 1.9%)
	厳しくなった	28.1%	(前回 21.3%)
	変化なし	66.7%	(前回 76.9%)

R3年2月時と比べて、金融機関の貸出姿勢はいかがですか。

	緩やかになった	4.6%	(前回 10.2%)
全体	厳しくなった	4.0%	(前回 2.9%)
	変化なし	91.3%	(前回 86.8%)
製造業	緩やかになった	3.8%	(前回 10.0%)
	厳しくなった	3.8%	(前回 1.0%)
	変化なし	92.5%	(前回 89.0%)
非製造業	緩やかになった	5.4%	(前回 10.5%)
	厳しくなった	4.3%	(前回 4.8%)
	変化なし	90.3%	(前回 84.8%)

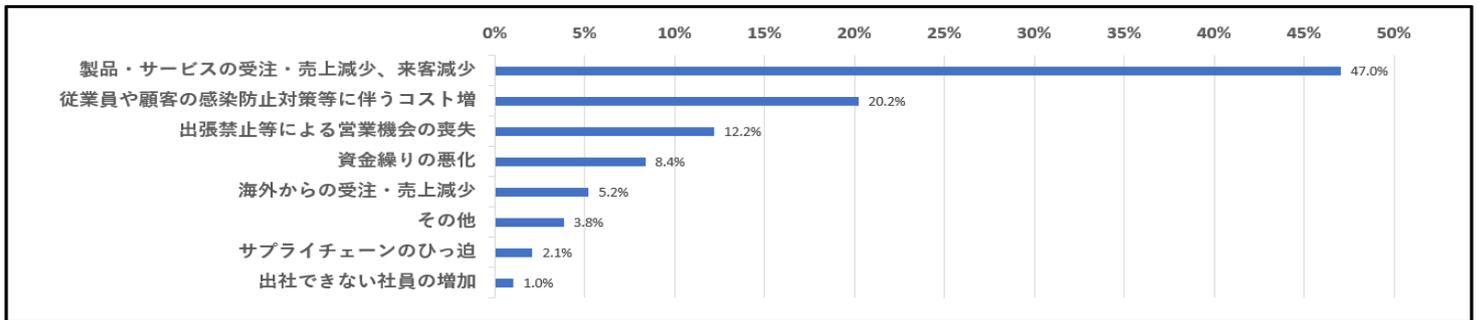
3 新型コロナウイルスの感染拡大に係る影響について

①現時点で生じている経営への影響や懸念について教えてください。



業種	影響の種類	割合
製造業	既に悪い影響が生じている	60.9%
	今後影響が生じる懸念はある	26.1%
	影響はない	10.9%
非製造業	既に悪い影響が生じている	56.7%
	今後影響が生じる懸念はある	28.9%
	影響はない	14.4%
	良い影響が生じている	0.0%

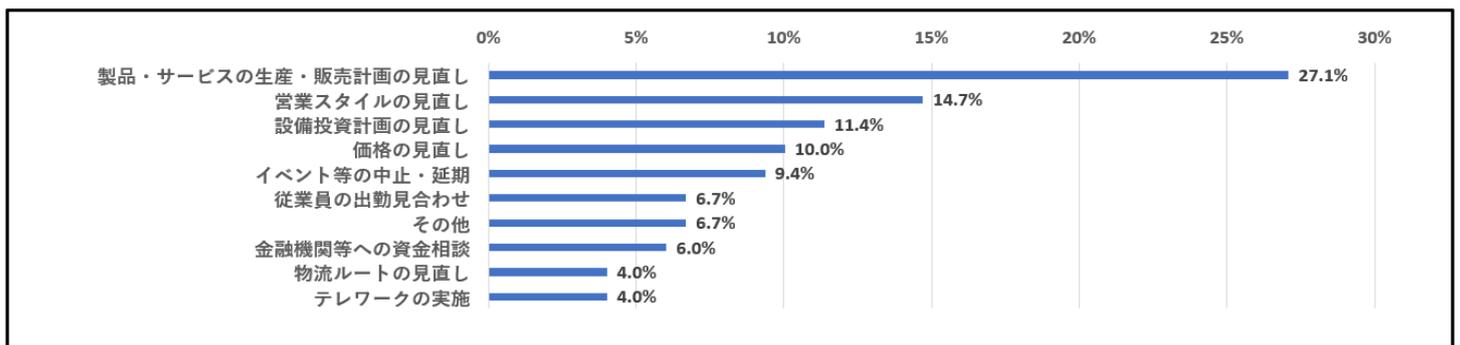
②現時点で生じている悪影響について(複数回答可)



製造業	悪影響の種類	割合
	製品・サービスの受注・売上減少、来客減少	41.8%
	従業員や顧客の感染防止対策等に伴うコスト増	19.6%
	出張禁止等による営業機会の喪失	15.0%
	海外からの受注・売上減少	7.8%
	資金繰りの悪化	5.9%
	その他	5.2%
	サプライチェーンのひっ迫	3.9%
	出社できない社員の増加	0.7%

非製造業	悪影響の種類	割合
	製品・サービスの受注・売上減少、来客減少	53.0%
	従業員や顧客の感染防止対策等に伴うコスト増	20.9%
	資金繰りの悪化	11.2%
	出張禁止等による営業機会の喪失	9.0%
	海外からの受注・売上減少	2.2%
	出社できない社員の増加	2.2%
	その他	1.5%
	サプライチェーンのひっ迫	0.0%

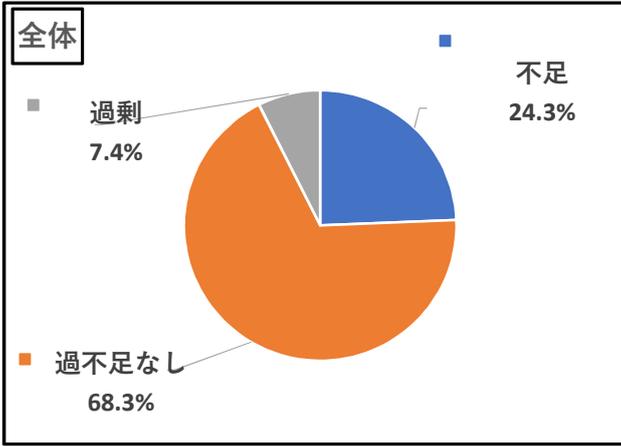
③生じている悪影響への対応策について(複数回答可)



製造業	対応策の種類	割合
	製品・サービスの生産・販売計画の見直し	30.8%
	営業スタイルの見直し	13.8%
	設備投資計画の見直し	11.9%
	価格の見直し	11.3%
	イベント等の中止・延期	8.8%
	従業員の出勤見合わせ	7.5%
	その他	6.3%
	テレワークの実施	4.4%
	金融機関等への資金相談	3.8%
	物流ルートの見直し	1.3%

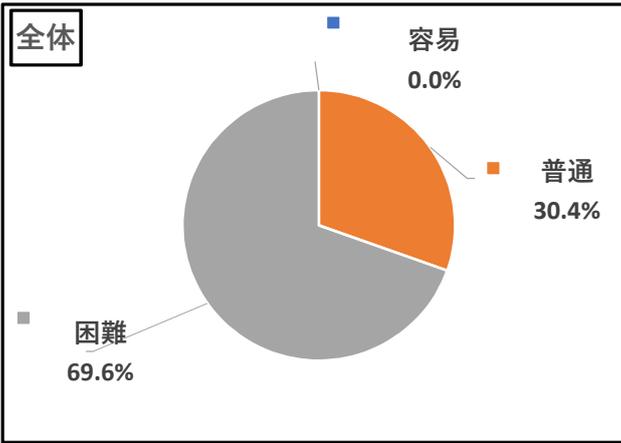
非製造業	対応策の種類	割合
	製品・サービスの生産・販売計画の見直し	22.9%
	営業スタイルの見直し	15.7%
	設備投資計画の見直し	10.7%
	イベント等の中止・延期	10.0%
	価格の見直し	8.6%
	金融機関等への資金相談	8.6%
	物流ルートの見直し	7.1%
	その他	7.1%
	従業員の出勤見合わせ	5.7%
	テレワークの実施	3.6%

④現時点の従業員の過不足はいかがですか。



製造業	不足	28.3%
	過不足なし	63.0%
	過剰	8.7%
非製造業	不足	20.6%
	過不足なし	73.2%
	過剰	6.2%

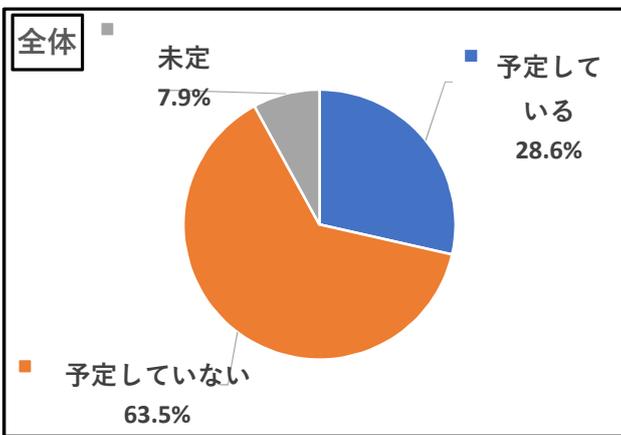
⑤不足している場合、充足の状況はいかがですか。



製造業	容易	0.0%
	普通	30.8%
	困難	69.2%
非製造業	容易	0.0%
	普通	30.0%
	困難	70.0%

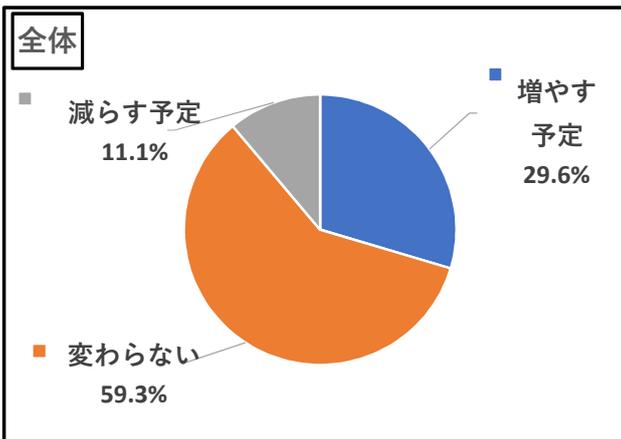
4 新卒採用の予定について

①来年(令和4年)3月卒の新卒採用を予定していますか。



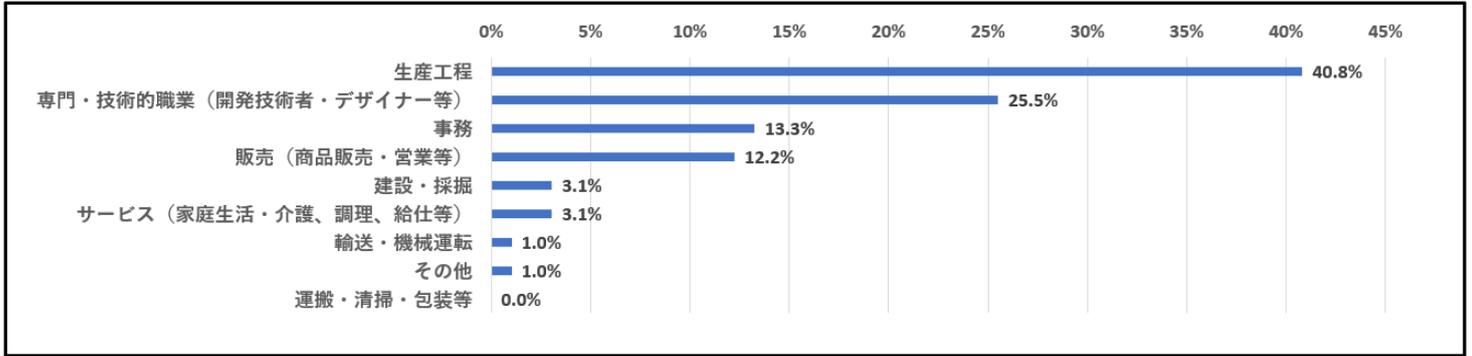
	大企業	中小企業
予定している	100.0%	22.4%
予定していない	0.0%	69.0%
未定	0.0%	8.6%

②予定している場合、前年と比べて新卒採用者数の増減はいかがですか。



	大企業	中小企業
増やす予定	40.0%	25.6%
変わらない	40.0%	66.7%
減らす予定	20.0%	7.7%

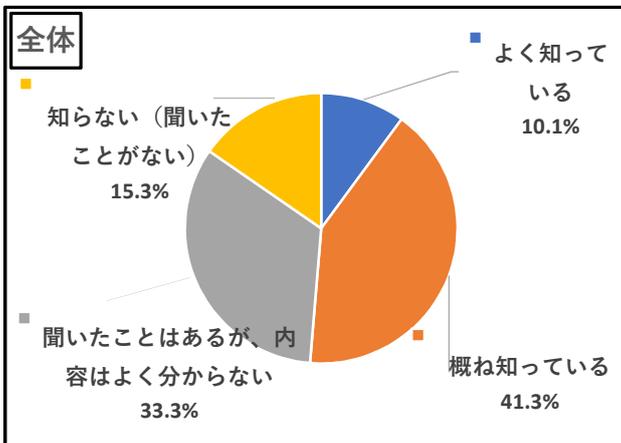
③予定している場合、どのような職種の募集を行う予定ですか。(複数回答可)



	大企業	中小企業
生産工程	43.3 %	39.7 %
専門・技術的職業（開発技術者・デザイナー等）	26.7 %	25.0 %
販売（商品販売・営業等）	10.0 %	13.2 %
事務	16.7 %	11.8 %
輸送・機械運転	0.0 %	1.5 %
建設・採掘	0.0 %	4.4 %
運搬・清掃・包装等	0.0 %	0.0 %
サービス（家庭生活・介護、調理、給仕等）	0.0 %	4.4 %
その他	3.3 %	0.0 %

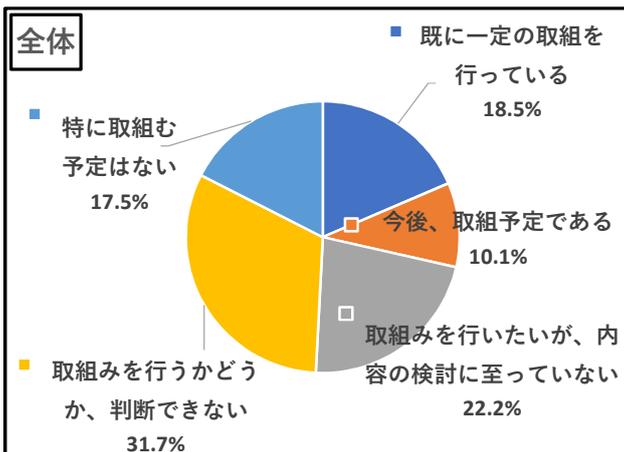
5 SDGs(エスディーゼーズ)について

①SDGsについて、ご存じですか。



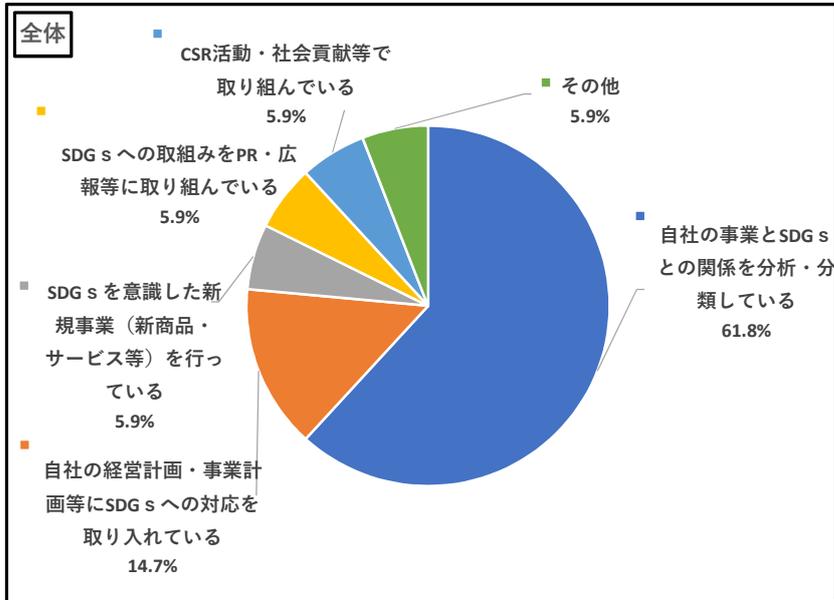
	大企業	中小企業
よく知っている	46.7 %	6.9 %
概ね知っている	53.3 %	40.2 %
聞いたことはあるが、内容はよく分からない	0.0 %	36.2 %
知らない（聞いたことがない）	0.0 %	16.7 %

②SDGsへの取組について、どのように対応されますか。



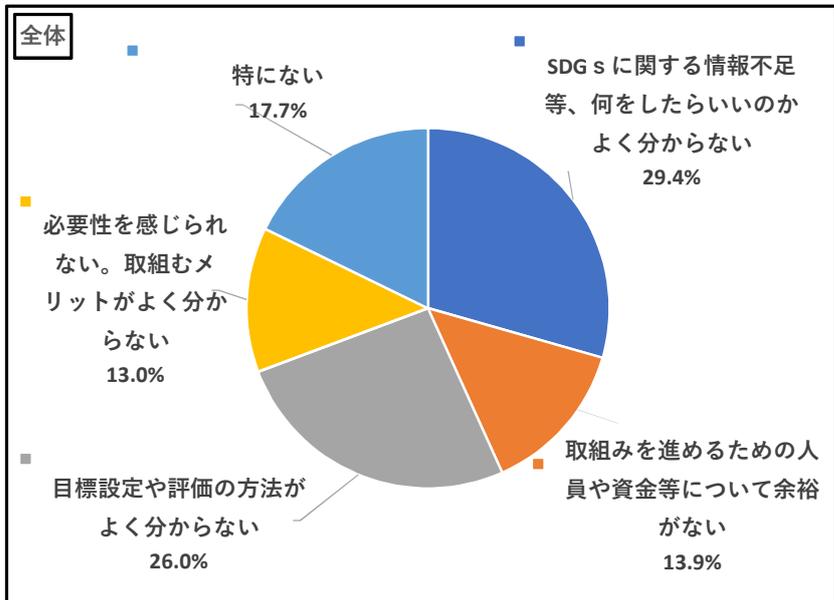
	大企業	中小企業
既に一定の取組を行っている	80.0 %	13.2 %
今後、取組予定である	13.3 %	9.8 %
取組を行いたい、内容の検討に至っていない	6.7 %	23.6 %
取組を行うかどうか、判断できない	0.0 %	34.5 %
特に取組む予定はない	0.0 %	19.0 %

③具体的な取組内容について教えてください。(複数回答可)



	大企業	中小企業
自社の事業とSDGsとの関係を分析・分類している	42.9%	68.2%
自社の経営計画・事業計画等にSDGsへの対応を取り入れている	14.3%	13.6%
SDGsを意識した新規事業(新商品・サービス等)を行っている	14.3%	0.0%
SDGsへの取組みをPR・広報等に取り組んでいる	14.3%	0.0%
CSR活動・社会貢献等で取り組んでいる	14.3%	0.0%
その他	0.0%	18.2%

④SDGsへの対応に当たっての課題はなんですか。(複数回答可)



	大企業	中小企業
SDGsに関する情報不足等、何をしたらいいのかわからない	11.8%	30.8%
取組を進めるための人員や資金等について余裕がない	29.4%	12.6%
目標設定や評価の方法がよく分からない	23.5%	26.2%
必要性を感じられない。取組むメリットがよく分からない	0.0%	14.0%
特になし	35.3%	16.4%

6 調査結果のまとめ

(1) 業況判断DI

全体では▲23.8となり、前回から2.8ポイントとわずかながら改善したが、依然として厳しい状況が続いている。業種別では、製造業では前回と変わらず0.0で、非製造業では前回から5.4ポイント改善したものの▲28.9と、企業規模別でも、大企業が▲6.7と前回から6.7ポイント悪化、中小企業では前回と比べ4.0ポイント改善はしたものの▲25.3となっている。

また、先行きも▲10.6と、前回から2.2ポイント改善している。製造業が0.0（前回0.0）であるのに比べて非製造業は▲14.5（前回▲17.6）、また企業規模別では、大企業が0.0（前回0.0）であるのに比べ、中小企業・小規模事業者は▲11.5（前回▲14.2）となっている。非製造業や中小企業・小規模事業者において若干の改善は見られるものの、先行きへの懸念が払拭されていないことがうかがえる。

(2) 資金繰り

資金繰りの状況は、R3.2と比べると、「楽になった」が5.0%（前回4.3%）、「変化なし」が71.8%（前回75.8%）と減少する一方で、「厳しくなった」が23.2%（前回19.9%）と増加している。また、R3.2と比べた金融機関の貸出態度も、「緩やかになった」が4.6%（前回10.2%）と減少し、「厳しくなった」が4.0%（前回2.9%）と微増している。既に受けた融資の返済が始まる事業者もある中で、影響の長期化を受け、追加融資等の必要が生じる場合もあり、金融機関に求められる役割は大きい。

(3) 新型コロナウイルスの感染拡大に係る影響

「既に悪い影響が生じている」が58.7%（前回65.6%）と減少し、「影響はない」が12.7%（前回9.2%）と増加しており、影響が若干ではあるが、改善していることがうかがわれる。

具体的な影響は、「製品・サービスの受注・売上減少、来客減少」が47.0%、「従業員や顧客の感染防止対策等に伴うコスト増」が20.2%、「出張禁止等による営業機会の喪失」が12.2%、「資金繰りの悪化」が8.4%と続いている。

企業の対応策では、「設備投資計画の見直し」が11.4%（前回10.1%）、「価格の見直し」が10.0%（前回7.0%）、「イベント等の中止・延期」が9.4%（前回8.9%）とやや増加した。一方、減少したものは、「製品・サービスの生産・販売計画」が27.1%（前回28.2%）、「営業スタイルの見直し」が14.7%（前回16.1%）、「従業員の出勤見合わせ」が6.7%（前回7.4%）、「金融機関への資金相談」が6.0%（前回7.6%）、「物流ルートの見直し」が4.0%（前回4.3%）、「テレワークの実施」が4.0%（前回6.0%）となっている。

(4) 新卒採用の予定について

来年（令和4年）3月卒の新卒採用については、「予定している」が28.6%、「予定していない」が63.5%、「未定」が7.9%となっている。企業規模別に見た場合、大企業は「予定している」が100%となっているのに比べ、中小企業・小規模事業者は、22.4%にとどまっている。

令和元年5月調査（令和2年3月卒の新卒採用）においては、「予定している」が29.0%、「予定していない」が51.4%、「未定」が19.6%となっており、コロナウイルス感染症が拡大する前の水準とほぼ同等となっていることがわかった。

(5) SDGsについて

「よく知っている」が10.1%、「概ね知っている」が41.3%となり、認知している企業は、合わせて51.4%で、前回（令和2年2月）調査の26.4%と比較すると、一定の割合で認知が進んでいることがうかがえる。一方で、「聞いたことはあるが、内容はよく分からない」が33.3%、「知らない（聞いたことがない）」が15.3%で、計48.6%となり、半数の企業で認知が進んでいないことがわかった。

取組の進捗状況については、「既に一定の取組を行っている」が18.5%となっており、企業規模別に見た場合、大企業が80.0%となっているのに比べ、中小企業・小規模事業者は、13.2%にとどまっており、中小企業・小規模事業者の多くで、具体的な取組が進んでいないことがわかった。